

(別紙 3)

静岡県における認定鳥獣捕獲等事業者等の育成に係る
評価報告

1 認定鳥獣捕獲等事業者等の現状や課題等

増え過ぎたニホンジカによる生態系や農林業等への被害が深刻化し、捕獲に対するニーズが高まっている。
しかし、捕獲の担い手である狩猟者は、減少・高齢化が懸念されることから、今後の野生鳥獣の捕獲従事者を確保するため、安全で効率的に捕獲する技術を持った認定鳥獣捕獲等事業者を育成する必要がある。

2 1の課題等に対応するため、本事業で実施した取組内容

実施時期	講義：11/22、11/24 実習：12/13、12/20				
場所	・東部：11/22、12/13（伊豆市） ・中西部：11/24、12/20（静岡市）				
目的	経験の浅い捕獲従事者に対して、安全で効率的な捕獲に係る知識及び技術の向上を図るための研修を行う。				
対象者・講師 (人数も記載)	1 対象者（40人） 以下の要件を満たす者 ・静岡県内に居住していること ・ニホンジカ、イノシシ等大型獣の捕獲経験が浅いこと ・令和7年度に静岡県において狩猟者登録をしている又は登録の意向があること 2 講師 (1) 講義 野生鳥獣等の自然環境に関する専門的な知識を有し、発注した業務を確実に実施できる者として、過去10年以内に国又は地方公共団体が発注した自然環境に関する研修・セミナー等を完了した実績を持つ、受託事業者の職員（4人） (2) 実習 県が実施するシカの捕獲事業で銃及びくくりわなで5年以上の実務経験を有している者（4人）				
内容	経験の浅い捕獲従事者に対して、安全で効率的な捕獲に係る知識及び技術の向上を図るため、講義（法・制度・安全管理に関すること等）及び室内・室外での実習（くくりわなの捕獲技術と安全管理に関すること）を行った。				
方法	日	区分	内容	時間	
	1日目	講義	1 関係法令、静岡県のニホンジカの生息・被害状況、管理捕獲、認定鳥獣捕獲等事業者等について	2	
		講義	2 初級者のためのニホンジカ捕獲技術（銃及びわな）、止めさし方法、解体方法、残滓の処理の仕方等について	3	

		実習	3 救急救命方法について	1
		小計		6
	2 日目	実習	初級者のためのニホンジカ捕獲技術（わな）、止めさし方法、解体方法、残滓の処理の仕方等について実習	6
	合計			12
評価方法	参加者に対する実施後のアンケートによる			
事業費	1,041,846 円			
備考				

注 1：項目に沿って、実施した研修会等の具体的内容を記入すること。なお、「目的」には育成したい人材像も記入し、「評価方法」には目的や育成したい人材像に対する事業内容の適切性の検証方法や事業効果の測定方法等を記入すること。

注 2：事業終了後の評価結果では、各項目について、実施した結果を記入すること。

3 2 の取組に対する評価と今後の課題等（事業終了後の評価結果時のみ記入）

- ・講義の内容について、約 83%が満足との回答であった。特に「鳥獣保護管理法、静岡県におけるニホンジカの生息・被害状況、管理捕獲について」の講義が好評であった。
- ・実習について、約 88%が満足との回答であった。特に、「野外での銃・わなの捕獲技術について」の実習が好評であった。

注：1 の課題及び 2 の各記載内容等も踏まえ、取組が適切に実施されたか、目的に対して効果があったか等の評価を具体的に記入すること。

また、評価を通じ明らかになった取組の改善点や今後の認定事業者の育成の課題等についても記入すること。

4 その他

--

注：特記すべき事項があれば記入すること。